

第 51 回日本生化学会北海道支部例会のお知らせ

日 時: 平成26年7月18日(金) 9:00より

場 所: 北海道大学百年記念会館(札幌市北区北9条西6丁目)

※ タクシーの場合は正門からお入りください。自家用車でのお越しはお断りしております。

※ 最寄りの駅はJR札幌駅もしくは地下鉄南北線北12条駅となります。



発表について

- 1) 口頭発表の際に使用する機材は PC(Win/Mac)のみとし、液晶プロジェクターで投影します。
- 2) 例会事務局では2台の PC(Win: power point 2010, Mac: power point 2011) を用意しますので USB でデータをお持ちになって下さい。必要な場合はご自分の PC をお持ちください。Mac の場合は接続用のコネクタをお忘れなく。
- 3) ポスター発表のボードサイズは 縦 180cm x 横 90cmです。ボードに演題番号が貼ってありますので 9:00~10:00 の間に掲示ください。発表時間帯は 13:00~14:30 となっております。なおポスターの撤去は18:20までをお願いします。

問い合わせ先

〒060-0812 札幌市北区北 12 条西 6 丁目
北海道大学大学院・薬学研究院・神経科学研究室内
第51回日本生化学会北海道支部例会 係
TEL:011-706-3252もしくは3250
FAX:011-706-4991
E-mail: seika-hok@pharm.hokudai.ac.jp

懇親会

閉会后、第3小会議室にて懇親会を予定しております。会費は一般 2,000 円、学生 500 円の予定です。受け付けの際に、懇親会への参加の有無をお知らせください。

第51回日本生化学会北海道支部例会 プログラム

日時:平成26年 7 月18日(金)9:00~18:05

場所:北海道大学 百年記念会館

9:00~9:05 開会の辞

日本生化学会北海道支部第51回例会長

鈴木 利治 (北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学研究室)

9:10~10:10 [一般講演 セッション1]

座長: 有賀 寛芳 (北海道大学・大学院薬学研究院・分子生物学研究室)

O-01

神経特異的アダプタータンパク質による神経伝達制御機構

○本館利佳、齋藤有紀、鈴木利治

北大院薬・神経科学

O-02

Alcadein α 細胞質ドメインの機能発現

○蘇武佑里子、羽田沙緒里、鈴木利治

北大院薬・神経科学

O-03

正常繊維芽細胞の方向持続的な遊走においてミオシンIIAとIIBは異なる役割を担う

○倉賀野正弘¹、村上洋太²、高橋正行²

¹北大院総合化・総合化学、²北大院理・化学

O-04

レトロマー複合体を介したホスファチジルセリン輸送機構の解析

○佐野孝光、伊藤謙、伊藤絵里子、鎌田このみ、田中一馬

北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子間情報分野

10:20～11:20 [一般講演 セッション2]

座長: 坂口 和靖 (北海道大学・大学院理学研究院化学部門・生物化学研究室)

O-05

RNF43遺伝子のミスセンス変異によるWnt/ β catenin経路のポジティブフィードバックループ形成

○築山忠維¹・福井彰雅²・寺井小百合¹・藤岡容一朗³・品田佳佐¹・大場雄介³・畠山鎮次¹

¹北海道大学 大学院医学研究科 医化学分野、²北海道大学 大学院生命科学院 組織構築科学研究室、³北海道大学 大学院医学研究科 細胞生理学分野

O-06

初期胚特異的なLRH-1の転写調節機構

○矢澤隆志¹、菅野真史²、今道力敬²、宮本薫²、谷口隆信¹

¹旭川医大・生化学・細胞制御科学、²福井大・医・分子生体情報学

O-07

寒冷暴露時における褐色脂肪細胞に特有な細胞増殖機構

○深野圭伍¹、岡松優子¹、阪上浩²、寺尾晶¹、木村和弘¹

¹北海道大学・大学院獣医学研究科・生化学、²徳島大学大学院・ヘルスバイオサイエンス研究部・代謝栄養学分野

O-08

HIV感染者での日和見感染症発症における自然免疫系細胞の重要性

○杉本智恵^{1,2}、藤田博美¹、Marcelo J. Kuroda²

¹北大院医・衛生学・細胞予防医学、²Tulane National Primate Research Center, Tulane University School of Medicine

11:30～11:55 [総説講演 1]

座長: 鈴木 利治 (北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学研究室)

R-01

iPS技術とヒトに豊富な自然免疫型T細胞のバイオロジー

○若尾 宏、藤田 博美

北大医学研究科衛生学・細胞予防医学

12:00~12:10 総会

議長:日本生化学会北海道支部長

13:00~14:30[ポスター発表]

14:40~15:05 [総説講演 2]

座長: 鈴木 利治 (北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学研究室)

R-02

環状RNAの機能探索

○阿部洋^{1,2,3}、阿部奈保子¹、中野佑妃子¹、伊藤嘉浩³、周東智¹

¹北大院薬・創薬、²さきがけ、³理研

15:15~16:30 [一般講演 セッション3]

座長: 鈴木 利治 (北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学研究室)

O-09

脂肪滴に局在する脂肪族アルデヒド脱水素酵素Aldh3b2の解析

○北村拓也、永沼達郎、木原章雄

北大院・薬

O-10

シェーグレン・ラルソン症候群における皮膚魚鱗癬発症メカニズムの解析

○永沼達郎、高木秀侑、金武司、北村拓也、佐々貴之、木原章雄

北大院・薬

O-11

細胞外刺激に応じたミクログリアの機能変化

○田中達英、村上公一、板東良雄、吉田成孝

旭川医科大学 医学部 解剖学講座 機能形態学分野

O-12

新規 $\alpha 4$ インテグリンバリエントは $\alpha 4$ インテグリンの内在性機能阻害因子である

○紅露ひとみ¹、松本尚樹¹、宮下友恵²、中鶴拓也²、今重之³、松田正³

¹北大・院生命・衛生化学、²北大・薬・衛生化学、³北大・院薬・衛生化学

O-13

新規 $\alpha 9$ インテグリンリガンドLymphotactin (XCL1)の同定と機能解析

○松本尚樹¹、紅露ひとみ¹、中鶴拓也²、宮下友恵²、今重之³、松田正³

¹北大・院生命・衛生化学、²北大・薬・衛生化学、³北大・院薬・衛生化学

16:40~17:15 [特別講演 1]

座長: 田中 一馬 (北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子間情報分野)

S-01

Architectural noncoding RNAによる細胞内構造構築の分子機構とその意義

○廣瀬哲郎

北海道大学・遺伝子病制御研究所・RNA生体機能分野

17:25~18:00 [特別講演 2]

座長: 前仲 勝実 (北海道大学・大学院薬学研究院・生体分子機能学研究室)

S-02

炎症の増幅回路の同定とその生理と病理

○村上正晃

北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子神経免疫学分野

18:00~18:05 閉会の辞

日本生化学会北海道支部第51回例会長

鈴木 利治 (北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学研究室)

18:20~ 懇親会

13:00~14:30[ポスター発表]

P-01

Phosphorylation of APP by JNK is not involved in a quality control of APP anterograde transport by kinesin-1 in neuron

○白木柚葉、千葉杏子、羽田沙緒里、鈴木利治
北大院・生命科学

P-02

JIP1による神経細胞におけるAPP順行性軸索輸送の高速化

○奥村祐香¹、千葉杏子¹、Angus Nairn²、Roger Davis³、金城政孝⁴、鈴木利治¹
¹北大院薬、²Dept. of Psychiatry, Yale Univ. Sch. of Med, ³Program in Mol. Medicine, UMASS Med. Sch., ⁴北大院先端生命科学

P-03

骨細胞が産生するmicrovesicle中に特異的に存在する28S ribosomal RNA fragment

○佐藤真理¹、田村正人²
¹北大・歯・口腔先端融合科学、²北大・歯・口腔分子生化学

P-04

コレラ菌由来ヘム分解酵素HutZにおける活性中心への配位制御

○道順暢彦¹、関根由可里¹、石森浩一郎^{1,2}、内田毅^{1,2}
¹北大院総合化学、²北大院理・化学

P-05

PPM1Dホスファターゼ阻害を介した癌細胞増殖抑制

○小笠原紗里¹、清田雄平¹、中馬吉郎^{1, 2}、吉村文彦³、谷野圭持³、坂口和靖^{1, 2}
¹北大院総化・総化・生物化学、²北大院理・化学・生物化学、³北大院理・化学・有機第二

P-06

脂質分子によるPPM1ホスファターゼILKAPの活性調節

○塚原七星¹、清田雄平¹、白幡祐貴子¹、坂口和靖^{1,2}
¹北大院総化・生物化学、²北大院理・化学

P-07

p53ヘテロ多量体形成および転写活性化能の細胞内定量的解析系の構築

○菅野まどか¹、今川敏明^{1,2}、戸口侑¹、鎌田瑠泉^{1,2}、坂口和靖^{1,2}
¹北大院総化・生物化学、²北大院理・化学

P-08

RNAseq法を用いた新生ゼニガタアザラシにおける褐色脂肪組織関連遺伝子の網羅的探索

○櫻井裕太¹、岡松優子¹、中尾亮²、大沼愛子²、斉藤昌之¹、小林万里^{3,4}、木村和弘¹

¹北海道大学・大学院獣医学研究科・生化学教室、²北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター、³東京農業大学・生物産業学部・水産資源管理学研究室、⁴NPO法人北の海の動物センター

P-09

Epstein-Barrウイルス産物LMP1分解制御機構の解析

○波田野陽介、硯澄仁、室本竜太、今重之、松田正

北海道大学・薬学部・衛生化学研究室

P-10

エイコサペンタエン酸合成酵素遺伝子のグラム陽性菌への導入と発現

○布目仁志¹、橋本美佳子²、奥山英登志²、花形寛³、水上誠³、宮内明³、折笠善丈⁴、渡邊研太郎⁵、佐藤眞美子⁶、吉田磨仁⁷

¹北大・理、²北大院・環境・分子生物、³ヒゲタ醤油研、⁴帯畜大・食品科学、⁵極地研、⁶日本女子大・電頭、⁷北大院・環境・生態遺伝

P-11

STAP-2によるTCRシグナル伝達活性化機構の解析

○齋藤浩大¹、今重之¹、関根勇一¹、室本竜太¹、吉村昭彦²、織谷健司³、松田正¹

¹北大院薬・衛生化学、²慶應義塾大・医・微生物学免疫学、³大阪大・医・血液・腫瘍内科学